

一緒にやろう！国際交流

MIFAでは下記の委員会が中心となり企画・運営をしています。

得意なことを活かしてみませんか？

広報委員会

子育てや、お仕事と両立しながらママが活躍しています。朝市でのグローバルテント開催、Facebook、Instagram、ホームページ、newsletter 発行などMIFAの活動を広くお知らせする役割を担っています。できる時に、できることを、楽しみながら一緒にやったださる方、ご連絡をお待ちしています！



多彩な人材が集う日本語講座へようこそ!!

日本語講座委員会

MIFAでは、できるだけ少人数での日本語学習の場を準備しています。豊富な教材を準備しチームで日本語の学習を支援。日本語講座はボーダレスの多文化共生社会の原型です。市内及び近隣にお住いの外国人の方と日本人のボランティアが共に集い学ぶみんなの居場所であり、「多文化ひろば」です。



開催時期 1期：5～7月 / 2期：9～11月 / 3期：1～3月 (各10回)
 開催場所 ログハウス
 講座時間 水曜日 19時15分から20時30分 (オンライン)
 19時30分から21時 (対面)
 金曜日 13時から14時30分 (対面)

その他、MIFAでは世界を知ろう委員会 (P.2 参照)、姉妹都市交流委員会 (P.3 参照)、多文化共生のための勉強会や体験会などを企画する総務委員会など、各委員会が中心となり企画・運営しています。

気軽に外国語に触れてみませんか？

語学研修委員会

英語でおしゃべり

コロナ禍では、オンラインと会場開催を状況により切り替えて行っています。毎回30名程の参加者で開催し、オンラインでは筑波大留学生も多く参加しています。



開催時期 第1土曜日 開催場所 ログハウス
 講座時間 10:00～12:00

ドイツ語に親しむ会

国際交流員のシュテファニーさんを交え、ドイツのニュース、小説の解釈、日本の物語をドイツ語に翻訳する練習を通して、日本とドイツの文化の違いを学んでいます。



開催時期 第4水曜日 開催場所 ログハウス
 講座時間 14:30～16:30

中国語講座

プロの中国語講師であるMIFA会員の曹璨(ソウ サン)氏による「中国の言語と文化を学ぶ」という中国語講座が約5年にわたって継続し現在9名が受講しています。
 ※現在は定員に達しているため、新規受講生の募集はしていません。



活動紹介

『世界が守谷にやってきた』MIFAフェスタ2022 ～われら地球人～



2022年10月23日(日) ブランチパーク守谷にて

秋晴れの空に世界の国旗が良く映える一日でした。3年ぶりの開催となり、JICA 筑波からは16カ国47人の研修員が参加しました。会場は初めての屋外で守谷市や近隣に住む外国人や子ども連れ若い家族が目立つ2000人規模のイベントとなりました。ジャパニーズアニメコーナーや世界の遊びには子どもも多く参加し、また外国の方は日本文化体験を楽しんでいました。今後も言葉が通じなくても互いの文化に触れ合い、世界中の人たちと気軽に交流できる機会を作りたいと考えています。

市民
 とても愉しませていただきました。目、耳、さらに舌にも刺激になりました。お天気も場所も快適でした。

参加者の声

JICA 研修生
 日本人が楽しいことがこんなに好きだということを知り初めて知りました。MIFAフェスタに参加して本当に良かったです。

ボランティア
 ログハウス以外で初めての開催で不安だらけでしたが、来年もぜひ開催してくださいというたくさんの声をいただき、ボランティアの力の素晴らしさを感じました。

お気軽にお問い合わせください♪ [E-MAIL] contact@mifa.info



イベントや企画会議は
 ログハウスで
 おこなっています。



FACEBOOK QRコード



ホームページ QRコード





第27回「MIFA 世界を知るシリーズ」大使講演会

セルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ特命全権大使

日時 2022年10月1日

会場 中央公民館



コロナ禍で実施を見送っていた大使講演会を3年ぶりに開催し、「ウクライナの歴史と現状・今後に期待するもの」をテーマに大使が講演されました。

美しい自然や伝統文化を映像と共に説明され、祖国に平和を取り戻す強い意志を熱く語られました。紛争終結後の復興に日本からの技術支援や投資を期待するという言葉で講演を締めくくられました。通訳は国会でゼレンスキー・ウクライナ大統領の通訳もされたユリヤ・ザモースカ2等書記官で、大使の思

いがとても良く伝わりました。多くの市民と共にウクライナからの筑波大学留学生と避難民の女性も参加され、会場はほぼ満席になりました。講演前に留学生が来ていることを大使に伝えたところ、彼らの元に飛んで行き、開演間際まで語り合う様子から大使の豊かな人間性が感じられました。

会場のロビーでは約19万円の支援募金が集まりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

募金活動でウクライナを支援 —総務委員会—

今年度は、2月のウクライナ侵攻を受け、ウクライナの人たちに対する人道支援として募金活動を企画しました。市内各所での募金活動で集まった約26万円と、大使講演会で集まった19万円の合計45万円をウクライナ大使館にお届けすることができました。

このような活動を通じて、今後も守谷市の国際交流がますます発展するよう、活動を進めていきたいと考えています。

総務委員会では、MIFA全体の活動に関わることや理事会の議題の調整などを、事務局と連携しながら行っています。



学びと出会い MIFAの多彩な委員会

一緒に活動しませんか？

お問い合わせはP.4をご覧ください。

知りたい気持ちから生まれる 世界との交流

—世界を知ろう委員会—

「大使講演会」「MIFAコンサート」を企画・運営しています。多くの学びと国境を越えた楽しい出会いがたくさんあります。みなさまの当委員会へのご参加をお待ちしております



守谷市とドイツ・マインブルク市、 アメリカ・グリーリー市との架け橋に

—姉妹都市交流委員会—

下記のような企画・運営をしています。長く続く交流をこれからもつなぎ続け、姉妹都市としてよりよい関係を積み重ねていきます。

● 姉妹都市などとの交流

守谷市と姉妹都市契約を締結しているドイツ連邦共和国マインブルク市及びアメリカ合衆国グリーリー市をはじめとする世界各国との交流（相互訪問、文化交流など）

● ホームステイ事業

大学の留学生などにホームステイの機会を提供し、日本の文化・生活を体験してもらう（国際理解の促進）

● 会員相互の交流

会員全体でのバーベキュー会、近隣在住の外国人とのハイキング開催（予定）など

マインブルク市訪問団が 日本文化を体験しました

9月20日(火)～26日(月)総勢10名(学生7名、ヘトシャー市議会議員夫妻、ラングヴィーザー副市長)の訪問団がマインブルク市から来市しました。

来日した当日、MIFA主催の日本文化体験(箏、習字、投扇興)を実施しました。7時間の時差、13時間のフライトの疲れも見せず、真剣かつ楽しげに日本文化を体験した訪問団でした。

記念品の交換など、互いに有意義な時間を過ごすことができました。



マインブルクの結婚式



姉妹都市交流委員会では、姉妹都市の市民が来市する度に日本文化体験や交流イベントを企画運営しています。そのような機会やホームステイの受け入れなどを通じて親交を深めてきた友人の結婚式に招かれ、マインブルクを久しぶりに訪れました。

2000年にホームステイを受け入れてから20年以上にわたって互に行き来している親友のモニカは、私の子どものお宮参りにも出席してくれた妹のような存在です。

挙式は、彼女の生まれ育った家から見える教会で行われました。

バイエルン伝統の白ソーセージを教会に隣接する会場にいただいた後、結婚式の始まりです。

神父様に続いて、指輪を捧げた私とキャンドルを持った息子が新郎新婦を先導して入場しました。親族、友人、聖歌隊に囲まれたおごそかな結婚式は1時間半。

その後は、見渡す限りホップ畑が広がる丘を

越えて披露宴会場に皆が車で大移動です。

まずは、お庭でお茶会がスタート。子どもたちがバルーンハウスで遊ぶ様子を眺めながら、大人はデザートビュッフェを楽しみつつ、新郎新婦との写真撮影やおしゃべりをしているうちに夕暮れを迎えます。

そしていよいよ披露宴の時間。新郎新婦、両家の父親のスピーチの後、晚餐、ゲーム、ダンスなどで盛り上がったところで新郎新婦のファーストダンス。会場の中央で踊る新郎新婦の姿はおとぎ話の世界を見ているようでした。

午前11時に始まった結婚式の一日は翌午前1時30分ようやくお開きとなりました。

姉妹都市に友人がいることが私の人生を何倍にも豊かにしてくれました。

これからもこのような交流に関心がある方にMIFAの活動に加わっていただき、交流の輪が広がることを願っています。

(姉妹都市交流委員会委員 O.T.)